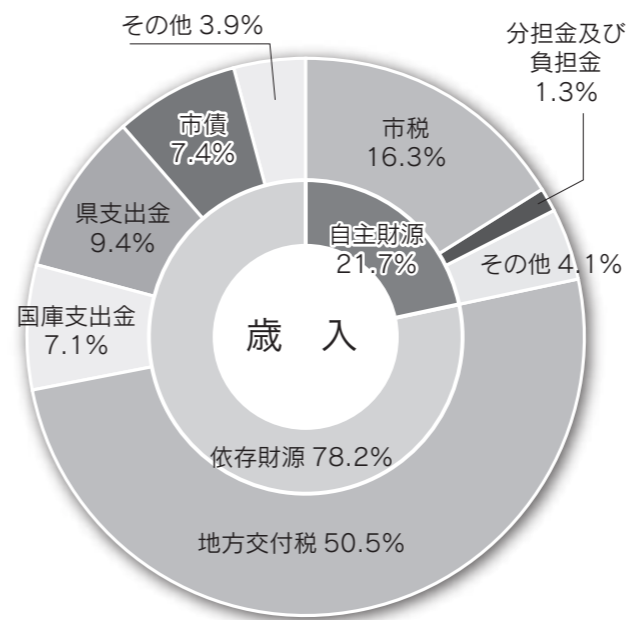


一般会計予算

平成20年度の一般会計と11の特別会計、水道・上天草総合病院事業会計の予算が、市議会3月定例会で承認されました。一般会計の歳入歳出総額は、平成19年度に比べ、4億2千5百万円減の145億4千百万円となりました。

今回は、平成20年度予算を前年度予算およびリバイバルプランと比較して、予算の中身を分析してみます。



歳入

自主財源は、前年度と比較すると、総額で4億4,813万8千円減少しています。一見自主財源の悪化と見受けられますが、前年度からの繰越金を入れずに予算編成した結果であり、前年度の3億円の繰越金を財源とした予算内容からは格段に好転しています。今後、繰越金は、基金に積み立てたり、借金返済の影響を緩和するための繰

上償還の財源として活用し、さらに財政再建を進めます。また、地方税においては、景気好転の兆しが見えないままとなつていますが、平成19年度実施された税源移譲の影響もあつて、2,735万5千円増加しています。

依存財源においては、2,313万8千円の増額となつていますが、借金である地方債の借入を6,130万円抑制しています。理由としては、「借り過ぎた借金」が財政運営に与える影響が大きいこと

から、平成19年度から21年度まで実施される政府資金(国の資金)等の繰上償還を積極的に活用し、新規借入の抑制も併せることで、公債費の負担を低下させ、平準化を図るということになります。

ただし、依然として歳入構造上の問題点でもある依存財源に頼る体質は改善されておらず、国県の動向に左右される脆弱な財政構造でもあることから、地方税などの自主財源を適正に確保することが重要となります。【表1参照】

表1 一般会計当初予算(歳入) (単位:千円)

	H20	H19	増減額	増減率
自主財源	3,159,050	3,607,188	△448,138	△12.4%
市税	2,371,383	2,344,028	27,355	1.2%
分担金及び負担金	196,999	197,523	△524	△0.3%
使用料及び手数料	88,801	113,671	△24,870	△21.9%
財産収入	38,511	48,984	△10,473	△21.4%
繰入金	230,156	353,359	△123,203	△34.9%
繰越金		300,000	△300,000	△100.0%
諸収入(収益・受託除く)	233,200	249,623	△16,423	△6.6%
依存財源	11,381,950	11,358,812	23,138	0.2%
地方譲与税	170,000	173,000	△3,000	△1.7%
利子割交付金	9,000	11,000	△2,000	△18.2%
配当割交付金	1,000	1,000	0	0.0%
株式等譲渡所得割交付金	1,000	1,000	0	0.0%
ゴルフ場利用税交付金	13,800	15,215	△1,415	△9.3%
自動車取得税交付金	40,500	45,000	△4,500	△10.0%
地方交付税	7,350,000	7,400,000	△50,000	△10.0%
内普通交付税	6,900,000	6,900,000	0	0.0%
内特別交付税	450,000	500,000	△50,000	△10.0%
交通安全対策特別交付金	3,500	4,000	△500	△12.5%
国庫支出金	1,027,557	1,050,967	△23,410	△2.2%
県支出金	1,360,182	1,178,731	181,451	15.4%
受託事業収入	411	599	△188	△31.4%
市債	1,072,000	1,133,300	△61,300	△5.4%
地方消費税交付金	315,000	320,000	△5,000	△1.6%
地方特例交付金	18,000	25,000	△7,000	△28.0%
合計	14,541,000	14,966,000	△425,000	△2.8%

表2 平成20年度当初予算とリバイバルプラン(歳入) (単位:百万円)

項目	H20当初	H20RP ^{※3}	比較
一般財源	10,802	10,735	67
市税	2,371	2,382	△11
地方交付税等 ^{※1}	7,368	7,228	140
地方譲与税等	554	580	△26
財産収入	39	45	△6
地方債 ^{※2}	470	500	△30
特定財源	3,739	3,901	△162
国庫支出金	2,388	2,102	286
使用料等	89	119	△30
分担金等	197	214	△17
繰入金	230	196	34
地方債	602	768	△166
その他	233	502	△269
合計	14,541	14,636	△95

※1 地方交付税等には、地方交付税と地方特例交付金を含む
 ※2 地方債は、臨時財政対策債であり普通交付税の振替措置となる
 ※3 RPとは、リバイバルプランの略称

リバイバルプランとの比較(歳入)

歳入においては、地方交付税等を除いて見込みより予算額が低くなつていますが、6年ぶり地方財政計画が3.0%増加した影響で、地方交付税等が伸びており、一般財

源は6,700万円増となつていますが、特定財源については、1億6,200万円減少していますが、この要因としては、地方債の借入を見込みよりも抑制することができたこと、前年度繰越金を財源としなくなつたこととなつています。【表2参照】

用語解説

- 自主財源**.....市が自主的に収入できる財源
- 依存財源**.....国・県から交付されたり、割り当てられたりした財源
- 市税**.....市民税や固定資産税など、市民の皆さんが納めた税金
- 分担金・負担金**.....事業に必要な経費を、その受益者から徴収したお金
- 使用料・手数料**.....使用料は公の施設を使用した場合に徴収したお金。手数料は、提供したサービスの費用
- 財産収入**.....各種基金利子、財産を売り払ったお金
- 繰入金**.....各種基金(貯金)の取り崩しにより繰り入れたお金
- 繰越金**.....市の決算剰余金を翌年度に繰り越して使用するもの
- 地方譲与税**.....国が徴収した自動車重量税などから配分されたお金
- 地方交付税**.....所得税や酒税など、国税の一部から町の財政状況に応じて交付されるお金
- 国庫支出金**.....特定の事業に対して国から交付されるお金
- 県支出金**.....特定の事業に対して県から交付されるお金
- 市債**.....大きな事業を行うために、国や金融機関から借り入れたお金